

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月17日(2020.9.17)

【公開番号】特開2020-116073(P2020-116073A)

【公開日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2019-8945(P2019-8945)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月5日(2020.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に遊技者に遊技価値を付与する特別遊技状態を発生する遊技機において、

前記始動条件の成立に基づき所定の乱数を抽出し、前記ゲームの始動記憶として記憶する始動記憶手段と、

前記始動記憶に対応する始動記憶表示を表示する始動記憶表示制御手段と、

前記所定の乱数を、当該所定の乱数に対応する前記ゲームが実行されるよりも前に事前判定する事前判定手段と、を備え、

前記始動記憶表示制御手段は、

互いに隣接する前記始動記憶表示同士の重心間隔を所定間隔に設定して、前記始動記憶表示を表示可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

以上の課題を解決するため、請求項1に記載の発明は、

始動条件の成立に基づきゲームを実行し、当該ゲームの結果が特別結果となった場合に遊技者に遊技価値を付与する特別遊技状態を発生する遊技機において、

前記始動条件の成立に基づき所定の乱数を抽出し、前記ゲームの始動記憶として記憶する始動記憶手段と、

前記始動記憶に対応する始動記憶表示を表示する始動記憶表示制御手段と、

前記所定の乱数を、当該所定の乱数に対応する前記ゲームが実行されるよりも前に事前判定する事前判定手段と、を備え、

前記始動記憶表示制御手段は、

互いに隣接する前記始動記憶表示同士の重心間隔を所定間隔に設定して、前記始動記憶表示を表示可能であることを特徴とする。